(4) 地方における審議会等における女性委員

		審議会数	女性を含む審議会数	女性を含む審議会の割合	委員総数	女性委員数	女性委員の割合
				%	人	人	%
都道府県	都道府県防災会議	47	23	48.9	2,537	46	1.8
	国土利用計画地方審議会	45	45	100.0	880	254	28.9
	土地利用審査会	46	46	100.0	321	101	31.5
	都道府県交通安全対策会議	46	18	39.1	992	34	3.4
	都道府県自然環境保全審議会	31	31	100.0	925	235	25.4
	都道府県環境審議会	46	46	100.0	1,457	376	25.8
	地方精神保健福祉審議会	47	46	97.9	752	177	23.5
	精神医療審査会	46	46	100.0	682	136	19.9
	結核診査協議会	46	37	80.4	1,798	115	6.4
	都道府県生活衛生適正化審議会	11	11	100.0	128	42	32.8
	都道府県医療審議会	46	46	100.0	1,064	236	22.2
	准看護師試験委員	47	47	100.0	622	306	49.2
	麻薬中毒審査会	24	20	83.3	120	26	21.7
	地方社会福祉審議会	46	46	100.0	1,609	502	31.2
	地方障害者施策推進協議会	44	44	100.0	828	240	29.0
	保育士試験委員	46	46	100.0	451	198	43.9
	地方社会保険医療審議会	3	3	100.0	69	14	20.3
	国民健康保険審査会	47	44	93.6	415	111	26.7
	都道府県職業能力開発審議会	45	45	100.0	648	174	26.9
	都道府県農業共済保険審査会	33	30	90.9	294	55	18.7
	都道府県森林審議会	47	47	100.0	676	192	28.4
	都道府県建設工事紛争審査会	47	42	89.4	658	157	23.9
	都道府県水防協議会	36	22	61.1	543	42	7.7
	建築審査会	47	47	100.0	318	87	27.4
	都道府県建築士審査会	47	46	97.9	330	91	27.6
	都道府県都市計画審議会	47	45	95.7	1,089	128	11.8
	開発審査会	46	44	95.7	320	89	27.8
	私立学校審議会	47	47	100.0	625	162	25.9
	石油コンビナート等防災本部	33	14	42.4	1,210	21	1.7
	公害健康被害認定審査会	10	4	40.0	114	10	8.8
	総量削減計画策定協議会	4	3	75.0	138	3	2.2
	都道府県児童福祉審議会	8	8	100.0	151	58	38.4
	漁港管理会	9	7	77.8	373	63	16.9
地方港湾審議会	33	32	97.0	1,027	123	12.0	
土地区画整理審議会	8	3	37.5	197	6	3.0	
教科用図書選定審議会	44	44	100.0	823	269	32.7	
スポーツ振興審議会	46	46	100.0	787	228	29.0	
小計	1,351	1,221	90.4	25,971	5,107	19.7	
指定都市	市防災会議	12	11	91.7	780	26	3.3
	民生委員推薦会	12	12	100.0	167	54	32.3
	国民健康保険運営協議会	12	12	100.0	267	57	21.3
	地方社会福祉審議会	12	12	100.0	469	141	30.1
	土地利用審査会	12	12	100.0	84	22	26.2
	地方障害者施策推進協議会	10	10	100.0	211	47	22.3
	公害健康被害認定審査会	7	5	71.4	93	8	8.6
	保健所運営協議会	12	12	100.0	1,366	291	21.3
	結核診査協議会	12	9	75.0	165	15	9.1
	損害評価会	6	3	50.0	126	8	6.3
	漁港管理会	2	2	100.0	33	2	6.1
	地方港湾審議会	6	6	100.0	204	18	8.8
	水防協議会	1	1	100.0	25	1	4.0
	土地区画整理審議会	12	9	75.0	688	21	3.1
建築審査会	12	11	91.7	82	24	29.3	
小計	140	127	90.7	4,760	735	15.4	
合計	1,491	1,348	90.4	30,731	5,842	19.0	

(注) 1. 審議会の数については、各都道府県、各指定都市を単位とする。
 2. 各地方自治体の事情により、調査時点が異なる場合がある。

平成13年度 内閣府調べ